

会 議 録 (要 旨)

					記録者：福祉総務課 吉川	
決裁	部長	次長	課長	課長補佐	主査・係長	グループ員
件名	令和5年度第1回龍ヶ崎市地域福祉計画推進委員会					
日時	令和5年8月21日（月）10時00分～12時00分					
場所	龍ヶ崎市役所5階 全員協議会室					
出席者	<p>【委員】 佐藤純子委員長、田辺臣江、武田和芳、披田信一郎、松田清、松尾周子、清原久雄、椎名とも子、永野浩、植竹勇、稲川めぐみ、杉野美左子、佐子川淳子</p> <p>【事務局】 （龍ヶ崎市）荒楨部長、中嶋次長、藤ヶ崎課長、沼崎課長補佐、篠原課長補佐、佐伯係長、吉田副主査、記録者 （社会福祉協議会）池野辺課長、寺崎課長補佐、宮本主事</p>					
欠席者	青山しげ子、遠田康人					
傍聴人	なし					
内容	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 (1) 地域福祉計画・地域福祉活動計画の進行管理について 4 その他 5 閉会					
< 議 事 >						
佐藤委員長	<p>それでは皆様、円滑な議事進行にご協力をよろしくお願いたします。</p> <p>初めに会議録署名人ですが、今回は、稲川委員と植竹委員にお願いしたいと思います。</p> <p>本日の議題は1件でございます。次第にもございますように、地域福祉計画・地域福祉活動計画の進行管理についてです。</p> <p>まずは、事務局から説明よろしくお願いたします。</p>					
事務局	(資料に基づき説明)					
松尾委員	<p>包括支援センターが民間委託となり、ケアマネジャーも民間委託となりますよね。その対象者、要するに支援を受ける方とケアマネジャーが対面した際、あまりにも営業目的が強く、対象者と意見が合わずに、包括支援センターが間に入ったものの、ケアマネジャーが離れてしまったという事例がありました。</p> <p>今後、支援を受ける側と包括、ケアマネジャーが十分に対象者の状況を鑑みながら対応していただけるのかどうか不安です。</p> <p>また、包括、ケアマネジャーが相談を受けた場合、その情報は市の方にも入ってくる</p>					

	<p>のですか。</p> <p>民間委託となった今、市と包括支援センターとの関わりがどのようになっているのか、包括支援を民間委託して、今後の介護サービスが上手くいくのか疑問です。</p>
事務局	<p>包括支援の主体は、民間の地域包括支援センターに移りますが、市が何もしないということではございません。包括支援センターで受けた相談について、市の方にも情報が入りますので、その際は包括支援センターと状況を確認しながら、共同で対応していくという流れとなります。</p>
佐子川委員	<p>質問に対する回答ありがとうございました。移動支援について回答いただいたのですが、先日発行された市議会だよりに、移動支援について、来年4月から社会福祉協議会とボランティア輸送事業を開始できるように協議をしていくとありましたが、そこについてお話ししていただければと思います。</p>
事務局	<p>今まで福祉有償運送に関してはNPO法人等で運営されていたのですが、対象者がそれら法人等のサービスを利用されている方に限定され、広くサービスが使えない状況でした。</p> <p>そのような状況を受けまして、昨年度から市と社会福祉協議会で、移動支援サービスを行えないか協議を行ってきたところです。</p> <p>現在、検討中ですので、具体的にこういった方々を対象にということを上申することは出来ないのですが、来年の4月を目処に社会福祉協議会が主体となり、福祉有償運送ではなくボランティアを活用して、移動が困難な方々のためのサービスを実施できるよう検討しております。</p> <p>いずれにしても、来年の4月からの運用開始に向けて、現在協議を進めているという段階ですので、ある程度具体化された段階で、改めてお話しさせていただきたいと思っております。</p>
披田委員	<p>今の佐子川委員の質問に追加する形で伺いたいのですが、お金を取るのかどうかが必要になってくると思います。</p> <p>無償ということで実施する場合、純粋なボランティアとして人が集まるのか、マッチングだとか、交通事故の危険性だとか、ガソリン一つをとっても無償のボランティアだけではできないことには限界があると思います。もう少し詰めた内容をお聞きしたいです。</p>
事務局	<p>現在、検討中ですので、今後、変更する可能性があるということ、予めご承知おきください。</p> <p>まず、料金に関してですが、ガソリン代の実費負担だけを現在のところは考えています。</p> <p>次に、ボランティアだけで運営できるのかということについては、基本的にはボランティア主体での運営を考えております。また、この事業のために会計年度任用職員を配置し、受付等を行いながら、マッチングが出来ず、ボランティアの方の都合がつかないときは、運転をしていただくというようなことも想定して、現在検討しております。</p>

<p>披田委員</p>	<p>70歳を過ぎてくると、個人差があるとしても、安全面が難しい課題となってきます。ただ、60歳くらいの方でボランティアをしていただける人を集めることも難しいと思います。そこで、市がお金を出して雇うということであれば、集めることはできるでしょう。それが悪いというわけではありませんが、以前、福祉有償運送について、タクシー業者との関係があるから、市がNPO団体などに、運営補助を出すことは難しいとありました。しかし、この事業については、社協が行政絡みで行うため、お金を出すということになります。このことについては、政策の整合性を考えていただきたいと思います。全体のバランスを考慮し、本当に使いやすいものをどうやってつくるのかという総合的な視点で、この事業を考えていかなければならないと思います。</p> <p>いずれにせよ、来年4月を目処にということであれば、人が集まらなければ、人を雇い、半ボランティアという形になると思いますが、それでもサービスの供給は必要だと思います。</p> <p>次に、総合的な窓口に関してですが、例えばここで、包括支援で子育ての相談を受けた場合、もちろん簡単な対応はしてくれると思いますが、実際、うちは関係ありませんと言わざるを得ないと思います。他にも様々な相談があるかと思えます。それぞれ支援の仕組みがあるため、対応が難しいというのは分かります。ただ、その相談について具体的内容に入る前に、ちょっとした相談という意味では、なるべく身近な生活に近いところに声をかけて、何か情報を貰いたい、役所につないでもらいたいということもあると思うので、東部、西部包括がうまくつなげるように、考えておいてください。</p> <p>次に、令和7年度にオープンするという新保健福祉施設について、数日前に市のホームページでも具体的な図面などが発表され、あとは完成を待つのみかと思えます。玄関を入ったところに、福祉コンシェルジュという全部を総括してやる窓口のようなものがありますが、実際どのような役割を担うことになるのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>福祉コンシェルジュについてですが、まず、市民の方が複合的な相談内容を抱えている場合、どこの窓口に行ったらいいか分からないと思います。そういったお客様が来庁されたときに、福祉にまつわる案内役の職員として、担当課に案内してもらいます。</p> <p>また、複数の課で対応する必要があるれば、相談室にご案内し、担当課の職員数名でお話を伺うということで現在考えております。</p>
<p>披田委員</p>	<p>社会福祉協議会も、佐貫西口支所、中央支所、元気サロン松葉館に職員がいるので、細かい相談については受けられないにしても、担当課につなぐような窓口機能は、是非持っていただきたいと思います。</p> <p>最後に、避難支援プランについてですが、要支援者に対して、支援者が配置出来ないということはやはり問題だと思います。また、実際に災害が発生した場合、要支援者一人ひとりの状態によって、対応の仕方は変わってきます。それを踏まえて、個別計画を作成しなければならないと思います。登録者を増やすだけではなく、どのように支援するのかということを考えていかなければならないと思うのですが、現状どのようになっていますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>現在、この制度に手を挙げていただいている方々の緊急連絡先、かかりつけの医療機</p>

	<p>関などが記載された個別計画については作成されています。</p> <p>しかし、今あったように、個別計画の中で支援者が決まっていなかった人がいること、避難所、避難経路、これを個別計画にどのように反映させていくのかということが課題となっています。</p> <p>今年度、避難行動要支援者のデータを管理しているシステムを変更予定で、新しいシステムでは、現在登録をされている方々の避難所について、地震の際は近くの小中学校が避難先になり、大雨など水害の危険がある場合には、高台の避難所など、状況に応じて避難所を設定できるよう進めております。そして、その避難所に行くまでの避難経路も個別計画に反映することができるシステムとなる予定です。</p> <p>しかし、業者からは、〇〇小学校を避難所にしたときに、自宅から小学校の体育館までの経路を自動的に近いルートで機械的に設定することは可能だが、それが現実的に通れる道でなかったり、危険性があったり、いろいろなことが想定されるので、機械的に避難経路の設定をしないで、避難所とそこまでの避難経路を要支援者、あるいはそのご家族などに協力していただきながら個別計画を作成していく形の方が現実的であると言われております。具体的な方針、スケジュールについては、これから詰めていきたいと思っております。</p>
披田委員	<p>このプランは地域の共助に期待しているわけですよね。市は要支援者、支援者を交えて様々な議論を行い、大災害が発生する前に、中身の充実をさせていかなければならないと思うので、よろしくをお願いします。</p>
永野委員	<p>ボランティア証明の発行は行っているのですか。</p>
事務局 (社協)	<p>通常は出してはおりません。ただ、ボランティアの方から要望があった場合は発行するという形で行っています。</p>
永野委員	<p>高校生がそういった証明を使い、自分のキャリアを作っていくというようなことを聞いたことがあるので、もう少しアピールすると、ボランティア募集にいいのかなと思います。</p> <p>次にフードドライブについてですが、市内に何か所あるのでしょうか。</p>
事務局 (社協)	<p>地域福祉会館、中央支所、松葉館、市役所の4か所となっております。</p> <p>また、イベント等で1日のみ、1週間限定などの設置も可能ですので、地域の方々、また小中学校などの文化祭等で協力していただけるのであれば、設置を考えております。</p>
永野委員	<p>他の地域にはなりますが、ファミリーマートの店頭で設置してありました。今後そのような、コンビニエンスストア等と協議していくことは計画にありますか。</p>
事務局 (社協)	<p>社協管理ではないのですが、フードバンク茨城というNPO法人とサブラの共同でフードバンクの設置をしています。そのように地域の店舗等から要望があれば、積極的に設置をしていきたいと考えております。</p>
披田委員	<p>最後に意見ということでお伝えしたいのですが、計画を見ると、福祉総務課扱いの項目が多くありますよね。しかたないことなのかもしれませんが、どうなのかなと思います。今回福祉総務課以外のところは障がい福祉課とか、生活支援課も保護課ということ</p>

	<p>で生活保護を担当し、介護福祉課も介護保険課が保険関係の業務を担当するなど、幾らか役割分担がはっきりしているわけです。しかし、その他のもの全てが福祉総務課となるわけで、地域包括支援センターを委託したとはいえ、行政が中枢を担う必要があり、その部分も抱えている訳です。この地域福祉計画推進など大きな問題の中枢部分を計画したり、政策について企画を立てるのは、独立した課で行うのではなく、関係課が集まって行うべきだと思います。今は福祉総務課で見直されているようですが、すごく大変だなというのが今回、この資料を見て思ったところです。今後検討をしていただきたいと思います。</p> <p>それからもう1点は、社会福祉協議会についてですが、私の質問で特に再質問はしませんでした。生活支援コーディネーターの委託を社会福祉協議会で受けられたということですが、今の社会福祉協議会の体制で、何をどのように行っているのかが気になります。今後こういった場での進捗報告をしていただきたいです。</p>
<p>佐藤委員長</p>	<p>今のご意見を踏まえて、今後の計画、活動に活かしていただきたいと思います。その他ご意見、ご質問はよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、「地域福祉計画・地域福祉活動計画の進行管理について」は以上とします。</p> <p>本日の議事は終了いたしました。皆様ご協力ありがとうございました。</p>
<p>< 議 事 終 了 ></p>	
<p>令和5年8月21日に行われた会議の内容については、上記のとおり相違ありません。</p> <p style="text-align: right;">委 員 長 _____</p> <p style="text-align: right;">会議録署名人 _____</p> <p style="text-align: right;">会議録署名人 _____</p>	